

令和4年度 第82回全日本ウエイトリフティング選手権大会
第36回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会



男子61kg級
本木和真 2等陸尉

男子55kg級
中越遼太 3等陸曹

男子81kg級
原 勇輝 2等陸曹

体育学校
ウエイトリフティング班

3階級制覇

令和4年4月28日から5月1日までの間、愛媛県新居浜市市民体育館において、第82回全日本・第36回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会が行われた。自衛隊体育学校からは本木和真2等陸尉以下12名が出場し、3名が優勝、3名が3位入賞の成果を取めた。



大会新記録で4連覇を飾った中越3曹

4連覇達成 C&ジャーク・トータル
大会新記録更新

大会初日、男子55kg級に出場した中越遼太3等陸曹は4連覇をかけて試技に臨んだ。自身のもつ日本記録の更新に挑戦したスナッチ競技では、115kgを惜しくも失敗。しかしC&ジャーク競技では135kgと大会新記録を更新し、トータルでも245kgの大会新記録で優勝を飾った。

試合後、中越3曹は「手首を痛めて思うように練習ができていなかったが、最高のパフォーマンスで優勝できたのは良かった。スナッチの日本記録を塗り替えられたので、また自分が塗り替え返して5連覇を達成したい。」と抱負を述べた。



2階級通算4度目の優勝を飾った本木2尉

2年ぶり
2階級通算
4度目の優勝

男子61kg級に出場した本木2尉はスナッチ競技で125kgを挙げ、1位でC&ジャーク競技につないだ。C&ジャークでは第1試技で145kgを成功させ、トータル270kgで1位になると2位の選手との大接戦を競り勝った。

本木2尉は、試合を振り返り「目標としていた記録が出せなかったので、嬉しさよりも悔しさが大きい。今後は国際大会でも結果を残すため、トータルで290kgを挙上できるように頑張りたい。」と決意を新たに示した。





悲願の初優勝を飾った原 2 曹

後続を引き離し

悲願の初優勝

大会 2 日目、男子 81 kg 級で初優勝を飾ったのは原勇輝 2 等陸曹。原 2 曹はスナッチ競技で第 2 試技までを落とし窮地に追い込まれるも、第 3 試技で 145 kg を成功させた。C&ジャーク競技では 180 kg を挙上し、2 位に 10 kg の差を付け、初優勝を飾った。

試合後、原 2 曹は「ライバル選手たちが別階級での出場だったので、勝たなくてはならないと思って臨んだ。練習で挙げている重量を試合ではまだ出すことができていないので、その差を地道に詰めてトップ選手に追いつけるように頑張りたい。」と今後の目標を語った。

スナッチ競技・C(クリーン)&ジャーク競技とは・・・?!

スナッチ：バーベルを 1 回の動作で頭上まで持ち上げて立ち上がる。

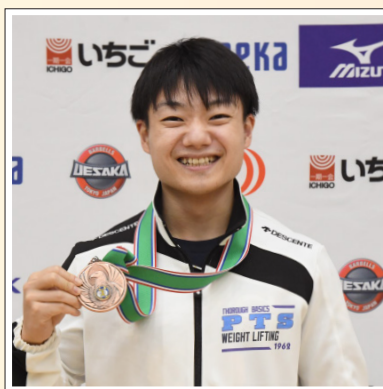
C&ジャーク：バーベルを 1 回目の動作で鎖骨あたりまで持ち上げてから（クリーン）、2 回目の動作で頭上に持ち上げる（ジャーク）。

※それぞれの競技を 3 回ずつ行い、最高重量の合計で順位が決まる。

3 位入賞選手



女子 64 kg 級
吉田朱音 2 等陸尉



男子 61 kg 級
平井海斗 2 等陸曹



男子 102 kg 級
請外泰俊 陸士長

総合成績 (メダリストのみ)

S: スナッチ
J: C&ジャーク
T: トータル



優勝

CR: 大会新記録



第3位

氏名等	種別	記録	氏名等	種別	記録
3 等陸曹 中越遼太 (広島県)	男子 55 kg 級	S: 110 kg J: 135 kg CR T: 245 kg CR	2 等陸曹 平井海斗 (埼玉県)	男子 61 kg 級	S: 115 kg J: 150 kg T: 265 kg
2 等陸尉 本木 和真 (兵庫県)	男子 61 kg 級	S: 125 kg J: 145 kg T: 270 kg	陸士長 請外泰俊 (沖縄県)	男子 102 kg 級	S: 146 kg J: 174 kg T: 320 kg
2 等陸曹 原 勇輝 (徳島県)	男子 81 kg 級	S: 145 kg J: 180 kg T: 325 kg	2 等陸尉 吉田朱音 (兵庫県)	女子 64 kg 級	S: 94 kg J: 115 kg T: 209 kg

